

地域おこし協力隊通信

第44回



リポーター…
小林正英 隊員

明けましておめでとうござい
ます。2023年初の協力
隊通信ということで、今年の
僕の活動方針について書きた
いと思います。

水辺の事業について、潮来
周辺の水辺を活性化させるた
め、市民団体を立ち上げまし
た。もしかしたら、前川でS
UP（大きいサーフボードに
立ってパドルを漕いで進むア
クティビティ）をしている僕
らを見たことがある方がい
るかもしれません。これは、
ただ純粋にSUPが楽しいか
らというだけでなく、市民の
方々の視線を水辺に向けてい
ただくことを目的としてやっ
ています。今年は、この事業
をもっと広げて、拠点づくり
や市との連携、ヴェネチア祭
（仮）を目指していければと
思っています。

鹿行の協力隊連携事業につ
いて、今年は鹿行の協力隊で
何か事業をする予定です。本
来なら、11月にSUPとサイ
クリングを組み合わせて鹿行
地域を巡るイベントを企画し
ていたのですが、諸事情によ
り延期に。一度体制を立て直
し今年こそは、実現させられ
たらと思っています。そして
この枠組みの中で、ゆくゆく
は鹿行の協力隊のサポート事
業や高校生への教育事業など
を実施していく予定です。今
まで鹿行の協力隊だった方々
も巻き込みながら、一丸と
なって進めていければと思っ

ています。ご協力よろしくお
願いします。

若者が活躍できる場づくり
について、これはまだまだア
イデアの段階なのですが、潮
来に若者が活躍できる場が
欲しいと考えています。ア
ートであったり、飲食であつた
り、映像制作であつたり、若
者が集まりやりたいことがで
きる場づくりをしたいです。
潮来の空き家を活用シクラウ
ドファンディングを絡めな
がら、そして皆さまのご協力
を得ながら、作り上げていく
予定です。まだ漠然としてい
ますが、これまでの潮来での
活動を通じ様々なことを学ん
できた中で、この事業は大切
な事業の一つかと思っていま
す。



（協力隊 小林正英）

～おしえて!! 認知症～ = 第15回 =

認知症の特徴

アルツハイマー型認知症

一番多い認知症で、特に女性に多く見られます。脳の全般的な機能低下が少しずつ進行します。早期発見と治療で進行を遅らせることができます。

脳血管性認知症

男性に多く、脳梗塞や脳出血など脳血管障害のあとに発症します。高血圧や脂質異常症など脳の動脈硬化の原因となる病気に注意が必要です。

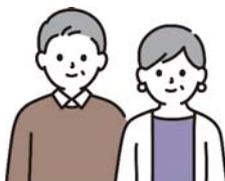
レビー小体型認知症

手足の震え、筋肉の硬直などが起こりやすい認知症です。また、実際には存在しないものが見える幻視などの幻覚症状も特徴です。

前頭側頭型認知症

脳の前頭葉や側頭葉を中心に神経変性を起こします。人格（性格）変化や行動の障害（同じ行動を繰り返す・自分の行動を抑制できなくなる）、失語症などが出現します。

認知症は、現在のところ根本的な治療が望めない病気なので、予防をすることがとても大切です。早期に発見し適切に対処すれば、特にアルツハイマー型認知症への移行を予防または先送りできると言われていま
す。認知症の前段階では、軽い記憶障害などがあっても基本的に日常生活は問題なく送れる程度ですが、ちょっとした異変でもサインを見逃さないようにしましょう。



認知症地域支援
推進員が教えます



認知症カフェ「いたこハートカフェ」 次回開催予定

- 日時** : 2月8日(水)
午後2時～3時30分
- 定員** : 10名(要予約)
- 場所** : グループホームこころ内「カフェつぐみ」
(潮来市日の出1-21-1)
- 申込み** : グループホームこころ
☎ 80-9055

12月の参加者は2名でした🍷(^^♪